

山中伸弥・京都大教授のノーベル賞受賞に関する新聞報道について（10月8日）

米国の報道機関は10月8日、山中伸弥・京都大教授のノーベル医学生理学賞受賞を一斉に報道した。

その中で、米国東海岸の主要新聞であるワシントン・ポスト紙は、山中氏の受賞理由や研究成果の意義に触れ、「研究の発展によって、いつの日か拒絶反応が起こらない細胞を移植できるようになるだろう」、「山中氏の研究成果は今や世界中の何百もの研究室に拡大し、事実上あらゆる疾患を研究するための技術に利用されている」という、米国で幹細胞分野の主要研究者でありハーバード幹細胞研究所 (Harvard Stem Cell Institute) のディレクターであるジョージ・ディレー氏 (George Daley) の談話を紹介した。

また、同じく米国東海岸の主要新聞であるニューヨーク・タイムズ紙も、山中氏の研究成果の意義や経歴に触れた上で、「当時、我々研究者たちは一つずつ遺伝子を移植する方法で細胞を初期化しようとしていた。24もの遺伝子を一度に移植するという彼のアイデアは、当時ならグラント審査会の会議室の外で笑われていたような実験」と山中氏の独創性を賞賛するジョージ・ディレー氏の談話と、「疑問は広がっていたが、山中氏の驚くべき実験が正しいということを私はすぐに確信した。というのも、私は彼が非常に慎重であることを知っていたし、その実験は論理が通っていたからだ」という、MITの外郭研究所であるホワイトヘッド研究所 (Whitehead Institute) の生物学者・ルドルフ・イエニッシュ氏 (Rudolf Jaenisch) の談話を紹介した。

<参照>

1 ワシントン・ポスト

・Nobel Prize for medicine awarded to Gurdon, Yamanaka for stem cell discoveries
http://www.washingtonpost.com/national/health-science/nobel-prize-for-medicine-awarded-for-stem-cell-discoveries/2012/10/08/ebd55128-1139-11e2-ba83-a7a396e6b2a7_story.html

2 ニューヨーク・タイムズ

・Cloning and Stem Cell Work Earns Nobel
<http://www.nytimes.com/2012/10/09/health/research/cloning-and-stem-cell-discoveries-earn-nobel-prize-in-medicine.html?pagewanted=all>